

のぞみ



Junior Chamber International SENDAI
公益社団法人 仙台青年会議所 2019年度 広報誌

2019.07

No. 423

02 | 理事長対談

公益社団法人 仙台青年会議所
第68代理事長

“MC型”教師 / 小学校教諭

武山 祐樹 × 沼田 晶弘

破

基礎の上に自らの意思で他の流れを
取り入れて発展を試みる



05 | 守破離特集

06 | 仙台七夕花火祭特集

08 | 事業報告

12 | 事業PR

15 | 編集後記

<http://www.sendai-jc.or.jp>

本誌は仙台青年会議所の運動を幅広く一般の方々に発信するための広報誌です。
仙台青年会議所公式ウェブサイトでも本誌に掲載された内容をご覧いただけます。





はじめに

武山 沼田先生、この度は、大変お忙しい中お時間を頂戴し、ありがとうございます。

沼田 こちらこそ、どうぞよろしくお願ひいたします。

武山 まず、本年度、仙台青年会議所（＊以下・仙台JＣ）では、仙台市の教育基本計画の重点課題にも掲げられており、まずいじめの未然防止に向けた運動を展開したいと考えております。私たち、JＣでは日頃から地域の課題解決を目的に運動を展開していますので、昨今、仙台市においても喫緊の課題になっている、いじめの未然防止に何か寄与していきたいと考えております。様々な調査をしていく中で、いじめの問題には、子どもたちの自己肯定感や、物事に道理を見極め行動する社会的規範意識を育むことが、大きく起因していることが解りました。最近、行政間においても大学生と地域の小学生が連携して、仙台市・いじめ防止プロジェクトの発足がありました。仙台市は学都仙台と呼ばれており、県内外から多くの学生が集まります。少子化や核家族の増加にともない、大学生をはじめとした小学生と近い世代の交流によって、何か子どもたちの心の支えや今後の連携関係の礎を構築していきたいと思っています。

青少年育成について

武山 仙台市が抱える現状の教育環境の

課題としては、地域社会の希薄化、核家族の増加、親御さんの就労体系も共働きの増加する等、複雑化・多様化してきております。地域社会の中で子どもたちがたくましく成長していくためには、日頃の生活において様々な体験、経験を通じて自己肯定感や社会的規範意識を養うことが必要不可欠だと考えています。その大前提として、子どもたちの問題というよりも、親御さんや地域の大人が、子どもたちの成長に向けて当事者意識を持つことが重要だと考えています。また、市民の方々と共に行動していくことが、われわれ青年や経済人のあるべき姿だと考えております。先生は、子どもたちの豊かな心の成長のためには、どのようなものが必要だったか、重要だと思われませんか。

沼田 まず、子どもに関していうと、いじめが起きるとか起きないというのは、何かのサインが発信されるとよく言います。それよりも、子どもの生活が充実していれば、いじめは起きにくいのです。いじめをしているよりも学校で何かをやっている方が楽しいとなれば、そのような時間は無駄です。うちのクラスではプロジェクトみたいなものがたくさんあって、同時並行でやっているので、いじめをしている時間はありません。いじめは時間がかかるではありませんか。だったら、自分の楽しいことをしている方がいよねというの、いじめが起きる前の指導です。いじめが起きてくると、なかなか芽を摘むのは難しいのですが、子どもによっては、いじられて楽しい子と、どこかでいじられているのが、いつの間にかいじめに変わっていたりするの

で、その辺の見極めは子ども同士でできないと「Aちゃんにこれを言っても大丈夫だったから、Bちゃんにも言ったら、Bちゃんは落ち込んだ」みたいな。でも、それに気付かずに、Bちゃんにずっと言い続ければそうなるので、子どもたちに「こういうことだよ」というシステムをまず教えてあげたら、少し減るのではないかと思います。

子どもたちの自立について

武山 仙台市でも自立という部分を最終目標に据えたいうえで、子どもたちにたくましく生きていただくためと、指針を掲げています。3年生以上は自分で物事を考えて分別を付けるという年代になると以前に聞いたことがあります。そのぐらいの年代にいろいろな体験をすること、痛み、怖さ、思いやりなどがすぐく育まれると思うので、幼少期や小学生の時期にたくさん体験することが、子どもたちの自立につながっていく一番重要なことかと思いますが、先生のご見解を

教えていただきたいです。

沼田 子どもが自立してほしいと思う親はたくさんいますが、実際に家で自立させようという行動を取っているのかには疑問があります。本当に自立させたいのであれば、教えるところまで教えて、一度任せたら手と足と口は出しては駄目だと思えます。例えば、今日は皿洗いをさせるのだと決めて、「皿洗いをして」と一度頼んだら、何が起きて皿洗いをさせた方がいいのです。でも、途中で水の出しっ放し、あるいは水が飛ぶ、あとでこれを付けるのが面倒くさいなどと、やっている途中で言いたくなってしまうかもしれません。それは床をびしょびしょにして、最後までやらせる覚悟を持って任せないと、自立はしません。そうしないと、お母さんにいろいろ言われて、何となく指示を聞いてやっていたら、何となくできた気になってしまふのです。任せたらもう触らないというのが、一つ、大人の覚悟としては必要かなと思います。もし、床が濡れたなら、一緒に片付けをして、次はどうしたらいいか一緒に考えることが大切なのです。

もう一つは、子どものためにやってあげることが、果たして子どもにとつていいのか、ということ。例えば、いろいろな外の小学校を見に行くと、自立しているなというクラスは、子どもたちが勝手にやります。そういうときは、「先生、次は何をする？」とか、次に何をするかを聞いてくる子たちは、指示待ちなのです。クラスのゴールが共有されていれば、あの先生は、「自分で考えろ」と言うだ



ろうな、と思うと、もう聞きに来ません。今度の仙台J.Cの船の事業も事前にゴールを共有したうえで、僕ら大人が大学生に任せるところと、指示するところを分けておかないと、「頼むよ」と言いながら、「あれは危ないのではない？」、「これは危ないのではない？」、「あそこへ行っていないが、大丈夫？」といちいち声を掛けていたら、大学生は「次に何をすればいいですか」となりますよ。次に何をすればいいですか」と来るというところは、もう自立していないし、それを見た子ど

もは成長しません。任せたら、やるという自分で自立するし、自立するということは、自分たちでやったらこういうふうになるのだという自信、肯定感がそれで高まってきます。

自己肯定感と社会的規範意識について

武山 子どもたちの教育の基本となるものはやはり、家庭内において規範意識や達成感を通じた自己肯定感の醸成だと思います。その心の成長の部分に枝葉を付けていくのが、地域であったり学校であったりという周りの環境が重要だと思いますが、そこに関して、先生のご見解を教えてください。

沼田 自己肯定感はどうやったら育つかというと、大きく分けると4つです。今までの△成功体験▽、人の話を聞いて納得する△代理体験▽、それから、尊敬する先輩や先生からの△説得▽、最後に気持ちが高揚しているときに自ら話す△情熱的高揚▽です。その4つと書かれています。

そのどれかを使って高めていくのです。小さい頃に、「将来のために勉強しろ」と言われてきました。将来とは何か。今はそのルートが崩壊しているではありませんか。少し前までは、東大に行ったら安泰みたいな。今は別に東大に行けば有利かもしれませんが、安泰ではありませんよ。その人にどういふことができるかとかの方が大事な世の中になってきています。それが正しいと思いますが、親



御さんは、やはり期待し過ぎてしまって、一歩ずつ褒めればいい話を、失敗の方にどうしても目が行くので、いいことはいいことで、しっかり認めてあげてやっていかないと、自己肯定感は育ちません。別に無理やり褒めなくてもいいと思います。「褒める、褒める」と言うと、親の方も、「このようなことでは褒められないよ」ということは褒められませんか。それを無理やり「頑張ったね」とか言うと、見透かされるではありませんか。だから、見たり気付いたりするぐらいで、それはそれでいいではありませんか。

本当にいいことがあったら、もう徹底的に褒める。例えば、子どもが何か達成したときに、お家でお母さんがまず褒める。その夜、子どもが寝たあとにお父さんが帰ってきて直接は褒められなくても、お母さんから「昨日、テストの話をしたら、お父さんがすごく喜んでいたらよ」と、お父さんが喜んでいたことを人から聞くという褒め方とか、いくらでもオプションがあり、その環境は学校でも家の中でも何でもいいのです。

規範意識に関しては、もう、これは僕は1つだけです。世の中にはルールがあるわけですから、「守った人が得をする。以上、終わり」と言う。だから、休み時間が10時40分までと決まっていたら、10時40分までに帰ってきている子たちが得をしないと、守る気などしないではありませんか。よくあるのが、遅れて帰ってきた子がいて、その子に先生が説教をします。関係ない子も一緒に聞かされるわけです。そうしたら、何かもう時間どおりに帰ってきたら馬鹿らしくありませんか。だから、僕はもう10時40分に全員帰っ



てきたら、扉を閉めて、「今からすごく面白い話をするから、遅れた子たちには絶対に言うなよ」みたいな話をして、遅れた子たちが帰ってきたら、「今の話終了！授業します！」と。「何、何？」と言うから、「いや、もう終わったから」とか言って、聞かせてあげないのです。でも、本当は大した楽しい話ができただろうかはわかりません。だけど、何か「俺たちは早く帰って得をしたな」みたいな、そういう感覚を持たせると、みんな帰ってくる。よく休み時間は5分前行動とか言われますが、休み時間は20分しかないのに、5分も早く帰ってきたら、彼らにとっては25%の損失ですよ。かわいそうではありませんか。だから、もし5分早くみんな集合したなら早めに授業をはじめて5分早く終わる。守らない人が得というのを植え付けては絶対にいけないなと思います。特に時間はそうです。遅れてきた人が許されたり、「大丈夫、大丈夫」なんて言っていると、遅れてきた方が得ではありませんか。間に合わせる

ために、必死に走っている自分が、自分はずごく走って、汗だらだらで来たのに、何か涼しい顔して10分遅れてきた人が「ごめん、ごめん」とか来ると、「遅れた方が得だよ」となってしまいますよね。

JCに求められるもの

武山 先生に最後に伺いたいのですが、JCはいろいろな職業や年齢の方もおられるので、そういった中で、JCに求められるものとか、JCだったらこういうことができるというのを、一つお話しただければなと思っています。

沼田 いろいろな業種の方がいらっしやるので、そこに積極的に、先生とかを招待して、何か会をつくって、こういう子どもたちの教育をするときに、先生ではない視点からの教育というものも、なかなか面白いなと思っています。学校の先生が言っていることで結構面白いのが、振り方の理論がわかったら、誰でもダルビッシュの球が打てると言っているのです。いや、それは練習しないと成れないでしょう、と先生以外の方は思うでしょう。トレーニングは自分でする、が前提だからです。しかし、そのトレーニングを自分から進んでやるのがなかなかつらい。だから敵対するのではなく、融合すればいいと思います。こちらで理論を教えて、あちらでトレーニングをしてきてくれたらいいと、いつも言うのです。



仙台JCは、いろいろある皆さんの得意分野とか、考え方の違いとか、そういうのも何かまた一ついいと思うのです。

武山 沼田先生、ありがとうございます。今回の事業では、学生は連携するうえで、いじめ防止の問題だけではなくて、仙台からどんな学生が流出しているという問題もあるので、学生に地域への愛着を持たせ、仙台にとどまってもらうことで人口減少の防止に寄与できないかなという部分も考えております。自己肯定感や規範意識が高い学生が地場においてこそ、持続的にいい地域になると思います。沼田先生のお話しは大変勉強になりましたし、これからの仙台JCの事業に活かし、活動できればと考えております。本日はありがとうございます。



前号のぞみNo.422号「守」では2019年度、武山理事長が掲げる「守破離」の精神を説明させていただきました。これは、師の基本となる教えを忠実に守り、外れることなく基礎を身につける「守」、基礎のうえに自らの意思で他の流儀を取り入れて発展を試みる「破」、そして、自身の型を確立して師から離れる「離」で構築された精神です。本来、守破離とは物事を学ぶ時の姿勢として昔から受け継がれている言葉です。この姿勢は仙台J.Cの運動でも物事を実行するために最も大切な基本姿勢と言えます。修行を積む過程での順序を表す言葉で、独自の境地を拓く道筋として

師の流儀を習い学ぶことの教えとなります。

本号のぞみNo.423号「破」では2019年度仙台J.Cが基礎のうえに独自に工夫し、試行錯誤しながら自分流のスタイルに挑戦を試むことにより、仙台J.Cは自らの意思で他の流儀を取り入れて発展を試みる運動を発信する事業が多く展開されていきます。

本号で紹介する仙台J.Cの事業を開催することで、地域を牽引するリーダーとして、「感謝」の心と「思いやり」を持ち、市民と共に運動を展開することで、希望に満ち溢れたしあわせを共感できる仙台を実現します。



株式会社 水谷自動車

快適で楽しいカーライフを
トータルサポートいたします。

■事業内容
新車・中古車販売、修理、板金塗装、車検、
保険、高価買取

〒982-0263 仙台市青葉区茂庭字綱木東14-1
TEL.022-346-8231 FAX.022-346-8232
<http://www.mizutanijidosha.com>

営業時間・9:00~19:00 定休日なし

エレクトロニクス技術のあくなき追求

◆自動制御盤 ◆省力化機器 ◆電子装置 ◆計測機器 ◆光学装置 ◆電子パーツ等

開発・設計・製作及び工事

東日本産業株式会社

代表取締役 石黒 雅之

〒981-0134 宮城郡利府町しらかし台6丁目2-11 TEL022-356-5253

仙台七夕花火祭



公益社団法人 仙台青年会議所
七夕花火祭特別委員会
特別委員長

菅原 啓太

仙台七夕花火祭の開催に際し、これまでお力添えいただきました皆様、そして今年も変わらずご支援ご協力いただいております皆様に、この場をお借りして感謝を申し上げます。

仙台で毎年恒例となっている8月5日に開催する仙台七夕花火祭は、1970年に仙台七夕まつりの前夜祭として、次代を担う子どもたちを対象とした「ぼくとわたしのお祭り広場」としてスタートしました。今では、仙台五大祭の一つである仙台七夕まつりの前夜祭に位置づけられ、仙台の夏の風物詩として全国でも数少ない市街地で打ち上げられる花火として市民の皆様から愛されてきました。花火祭当日は、約1万6千発の花火が打ち上がり、50万人の市民の皆様が訪れます。お陰様をもちまして、仙台七夕花火祭は今年で50回目を迎えます。仙台七夕花火祭特別委員会では第50回の仙台七夕花火祭の成功に向けて日々活動しています。



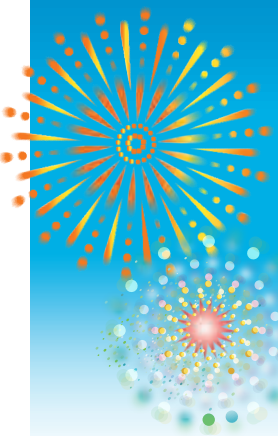
仙台七夕花火祭当日、皆様には夜空を見上げ、未来を思い描いていただくとともに、七夕まつり前夜のひと時を楽しんでいただきたいと考えております。遠くない未来、皆様が見上げた夜空に、仙台七夕花火祭を思い起こすことがあるかもしれません。その時、次の世代にも仙台七夕花火祭のようなひと時を過ごさせたいと感じていただくことで、皆様の想いが世代を越えて繋がり、人との想いが新しい時代を創りあげ、新しい仙台を創り上げていきます。人と人の想いがつながり、新しい時代を創っていく。そんな想いを込めて、今年テーマを「つなぐ〜夢と希望溢れる仙台の創造に向けて〜」としました。

毎年恒例となりつつありますが、仙台



七夕花火祭の魅力は、都市の中心部でありながら大規模な花火が楽しめることです。是非近くから花火を楽しんでいただきたいと思えます。

このまちを築き上げてきた先人たちの想いに立ち返り、市民の皆様が仙台七夕花火祭を通して地域への誇りや愛着を抱くきっかけとなればと考えております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。



仙台七夕花火祭

2019.8.5 MON 19:30-20:30



仙台七夕花火祭パートナーを募集しています

毎年多くの市民の皆様にも、仙台の夜空を彩る風物詩としてお楽しみいただいております「仙台七夕花火祭」も、今年で50回目を迎える運びとなり、皆様とともに開催するため本年度のテーマを「つなぐ～夢と希望溢れる仙台の創造に向けて～」といたしました。私たちは仙台七夕花火祭とともに創り上げていくパートナーを募集しています。

STEP 1 事前説明会

土日は1日2回開催します

6.16(日) 6.30(日) 7.6(土) 7.28(日)

10:00～11:00 (受付開始 9:30)、15:00～16:00 (受付開始 14:30)

平日は夜間に開催します

7.18(木) 7.25(木)

19:00～20:00 (受付開始 18:30)

[場所] 七夕花火祭事務所 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-24 亀ビル1階

※説明会に参加いただける方は下記メールアドレスかLINE@に登録していただき事前申し込みをお願いいたします。

申込方法

ホームページの応募フォームからお申し込みください。

www.tanabata-hanabi.jp/

お問合せ

公益社団法人仙台青年会議所 七夕花火祭特別委員会

[TEL] 022-222-9788 [Mail] 2019sendaihanabi@gmail.com

STEP 2 活動日程

街頭募金活動(予定)

6.29(土)-7.28(日)

仙台七夕花火祭当日

8.5(月) ※昼・夕食あり

準備・運営

8.3(土)-8.5(月)

早朝清掃・後片付け

8.6(火)

※詳細は決まり次第別途ご連絡します。

パートナー募集締切 **7.28(日)**

→ 仙台JC事業報告

第3回例会（創立例会）

2019
3.15
fri



3月15日（金）、仙台青年会議所の創立記念日を祝う68回目の創立例会を仙台勝山館で開催させていただきました。第1部の講演では、公益社団法人 日本青年会議所2011年度会頭であり、株式会社福寿園の代表取締役である福井正興氏を講師としてお招きし、社業における基本の型を守りつつ、いかにして発展させてこられたか、青年会議所でのご活動を通じて得られた学びや、あるべき青年リーダー像、東日本大震災

での仙台との関わりについてご講演いただきました。

第2部では、創立をお祝いする祝賀会として、仙台青年会議所をご卒業された特別会員の皆様との交流を通じ、諸先輩方が守られてきた熱い想いやご活動の歴史を受け継ぐ機会となりました。諸先輩方から受け継いだ想いを胸に、今後地域から必要とされる組織として、地域の課題解決に向けた運動に邁進してまいります。



しあわせな黄色いハンカチプロジェクト

2019
3.20
wed



3月20日（水）、しあわせな黄色いハンカチプロジェクト2018の続報として、榴岡小学校主催のBFC（少年消防クラブ）の閉校式に参加いたしました。BFC閉校式では、榴岡小学校5年生が年間を通して取り組んでいる防災授業の一環として、しあわせな黄色いハンカチスクール事業を採用いただき、小学生が自ら本プロジェクトの必要性を感じ、取り組んできた事業の発表を行いました。榴岡小学校では、仙台JCが寄贈した黄色い生地を地域のボランティア団体の皆様とともにハンカチに加工し、職場体験をした地域へ配布するとともに、

に、防災の重要性を発信いたしました。また、東日本大震災から8年となる3月11日には、製作したハンカチを校内に掲げ、防災意識の向上を呼びかけました。

児童・保護者・学校関係者からなる小学校を中心とする地域全体への事業として、有事の際に掲げて無事を伝える黄色いハンカチの趣旨の先にある、防災意識の向上と防災を観点としたコミュニティ形成に必要不可欠となるひとつくり・地域づくりプロジェクトとして確立するに至りました。



お客様の幸せと発展を願い、総合的なサービスを提供いたします。
生命保険、損害保険をお客様のニーズに応じてご提案をいたしております。

株式会社 亀正

〒980-0822 仙台市青葉区立町10-1-603
TEL.022-213-0902 FAX.022-213-0913
<https://kamemasa.co.jp/>

第4回例会

2019
4.15
mon



4月15日(月)、公益社団法人仙台青年会議所2019年度第4回例会を仙台市戦災復興記念館記念ホールにて開催いたしました。

本例会、第1部では外国人タレントとして活躍中のフィフイ氏を講師としてお招きし、「日本を知って世界ともつとつながろう!」We Are Tomodachi」をテーマとして、国内外を問わず活躍されているご

自身のご経験から、母国エジプトの文化を含め海外目線の価値観や海外からみた日本の文化などについてご講演いただきました。

続いて第2部では、フィフイ氏と武山理事長によるクロストークを行いました。対談を通じて、民間外交の重要性や、多種多様な価値観を有する相手を尊重しながら国際交流を行う重要性を伺うことができました。今回の例会を通じて得られた様々な意見を束ね、仙台青年会議所は、今後も仙台の国際化の可能性について模索し、国際感覚を持ち合わせながら、今まで以上に魅力ある国際都市としての機能を高められるよう率先して行動してまいります。



第5回例会

2019
5.14
tue



5月14日(火)、公益社団法人仙台青年会議所2019年度第5回例会をエル・パーク仙台ギャラリホールにて開催いたしました。

本例会では、公益社団法人日本青年会議所SDGs推進会議議長 刀林達哉君を講師としてお招きし、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」についてご講演いただきました。SDGsを通じた課題発見・解決方法を知識として学ぶだけではなく、仙台JCSの過去事業を紐解き、SDGsを通じて分析するワークショップを行う中で、先輩諸兄が築いた「まちづくり」「事業を通じて気づきや発見を得ること」で、今後のJCS運動の推進力に繋げる機会といたしました。本例会を通じて得た学びや気づきを活かし、明るい豊かな社会の実現のため、より一層、能動的に行動し、仙台JCSが武山理事長のもと一丸となり「まちづくり」「ひとづくり」に貢献してまいります。

の過去事業を紐解き、SDGsを通じて分析するワークショップを行う中で、先輩諸兄が築いた「まちづくり」「ひとづくり」事業を通じて気づきや発見を得ること、今後のJCS運動の推進力に繋げる機会といたしました。本例会を通じて得た学びや気づきを活かし、明るい豊かな社会の実現のため、より一層、能動的に行動し、仙台JCSが武山理事長のもと一丸となり「まちづくり」「ひとづくり」に貢献してまいります。



ナイスクリーン株式会社



自然環境を再生し、豊かな地球を創造する

伐採・木材リサイクル・森林管理・中間処理業

ナイスクリーン株式会社

TEL:022-393-2205 FAX:022-393-2207

Mail:info@nice-clean.co.jp

青葉まつり(自主警備)

2019
5.18-19
sat-sun



35回仙台・青葉まつりを無事に終えることができました。仙台青年会議所では、この経験を8月に開催される予定の仙台七夕花火祭での警備に活かすなど、今後も仙台の発展に向け積極的に活動してまいります。



5月18日(土) 19日(日)に開催された第35回仙台・青葉まつりの自主警備に、メンバー一丸となり参加いたしました。令和最初の青葉まつりとして奉祝一斉礼砲が行われるなど様々なイベントが催され、多くの市民と観光客が訪れました。今年は広い範囲で交通規制が掛けられるなど、注意しなければいけないポイントが多々ありましたが、メンバー一丸となって警備に取り組み、大きな事故が起きることができました。

防災都市確立事業

大学生防災アカデミー
「かがやけ未来のリーダー」

2019
5.25-26
sat-sun



たな危険箇所等について学びました。面接にて学生たちの想いに応えて審査し、防災意識が高く、海外発信に対する熱い想いを持っている10名の大学生を選抜し、2回の防災研修を行いました。今後、防災研修3や防災研修4、海外発信事業と続いていきますが、学生たちは防災研修で学んだことを活かし、子どもたちに震災の記憶を伝えることで、若き力となつて仙台市の防災を基軸としたまちづくりを推進してまいります。



防災のプロフェッショナルとなる学生を育成し、仙台市や地域との連携のもとコミュニティ防災の向上につなげ、防災を基軸としたまちづくりを推進してまいります。5月25日(土)防災研修1では、学生が学ぶ・考えることをテーマとし、自助、共助、公助について防災の見識者や町内会、行政関係者の防災の取り組みや対策を学びました。翌日5月26日(日)防災研修2では、災害予見地域をSBL(仙台市地域防災リーダー)の方々や仙台市の職員の方々と現場を実際に歩き、前日のディスカッションの内容を実際に見て体験し確認することで、現在の防災対策の状況や新

N-PIT 仙台

日産車の修理が得意な自動車修理工場

車検・钣金塗装 何でもお任せください!

代車無料!
ご入庫いただくと次回の車検まで
オイル交換・タイヤ交換無料!!



詳しくは **N-PIT仙台** で **検索**

有限会社 エイチ アイ ファクトリー



いま、わたしたちにできること。
これから、わたしたちにできること。

～イベントのある日常を、地域と共に～

NEAR 株式会社ニア
〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-7-15 ピースビル五橋6F
<http://www.near-sendai.com/>

イベント事業(イベント企画・制作・運営) ICT事業(システム企画・開発/ITインフラ基盤構築)

CENTURY 21


コアステージ

不動産のプロフェッショナルとして
信頼度地域 **No.1** を目指し、
お客様の幸せに続く住まい選びをお手伝いいたします。


取扱業務

不動産売買専門店

- ・一般不動産売却
- ・任意売却、相続対策のコンサルティング
- ・自宅ご売却後の高齢者用賃貸住宅の賃貸・管理
(相続対策や老後資金確保等の対策。)
- ・各種リフォーム



株式会社コアステージ
022-722-0287(代表)
FAX 022-722-0286
<https://www.century21.jp/>
〒980-0023 仙台市青葉区北目町2番39号
東北中心ビル2階



防災研修Ⅰ

5.25
sat



基礎救命講習



ディスカッション



防災研修Ⅱ

5.26
sun



体験型プログラム(発表)



体験型プログラム(調査・研究)

防災研修Ⅲ

6.8
sat



防災ワークショップ



1事業PR

防災都市確立事業

大学生防災アカデミー

「かがやけ未来のリーダー」

防災都市確立委員会では、防災都市確立事業 大学生防災アカデミー「かがやけ未来のリーダー」を実施しております。防災都市確立事業では、10名の学生が毎月実施される様々な防災についてのプログラムを通じ、仙台市関係者や町内会、そしてSBL(仙台市地域防災リーダー)と連携を深めながら、防災のプロフェッショナルに成長することで、仙台市の防災都市の確立に寄与し、コミュニティ防災を向上していく事業です。

5月25日(土)には、学生たちが防災の基礎を学ぶ機会といたしまして防災研修1を実施しました。東北福祉大学防災士協議会会長 船渡 忠男先生に自らを守る「自助」、国見地区連合町内会会長 吉澤 秀晃先生にお互いを助け合う「共助」、仙台市危機管理室減災推進課主幹 大友嘉章様には仙台市の災害時の役割である「公助」をご講演いただき、仙台市消防局警防部救急課 救命指導係主任 阿部直之様には共助の第一歩である「基礎救命救急講習」を実施していただきました。防災研修1のまとめとして行った三位一体ディスカッションでは、SBLと仙台市関係者と学生たちによるディスカッションが行われました。

5月26日(日)には、防災研修2として、前日の防災研修1で学んだことやディスカッションしたことを、実際に見て体験する体験学習を実施いたしました。学生が、津波、水害、土砂災害、都市災害のグループごとに分かれ、仙台市関係者、S

B.L、仙台青年会議所メンバーとともに各地域を調査・研究しました。その後のグループごとの報告会では、様々な視点での意見が交わされ、非常に有意義な時間を共有することができました。

6月8日(土)には、未来を担う子どもであり、震災の経験のない小学生に対し地域特性に応じた防災を伝え、自助、共助をワークショップにて知ってもらい、有事の際には黄色いものを家の前に掲げることで無事を知らせる防災・減災を伝えるプロジェクトである「しあわせな黄色いハンカチプロジェクト」を小学校で実施するための準備会議を行いました。学生が仙台市内小学校の子どもたちに、災害などの非常事態が起きた場合に、無事を伝えるために掲げる黄色いハンカチをテーマに事業を展開する「しあわせな黄色いハンカチプロジェクト」を円滑に実施するために、事業内容の確認や練習、そして学生たちが防災研修2で仙台市関係者やSBLとともに災害危険箇所を調査・研究した内容を災害特性に対応したスライドの作成をいたしました。

今後、学生たちは防災研修1・2と今回の準備会議で学んだことを活かして「しあわせな黄色いハンカチプロジェクト」を地域特性に対応した小学校で実施し、子どもたちに震災の記憶を伝え、身近な防災や減災を学ぶ授業プログラムを実施します。そして、多くの学んだことや経験したこと、そして仙台市の防災文化を台湾にて海外に発信する予定です。

仙台青年会議所では、本事業の実施により防災のプロフェッショナルとなる学生を育成し、仙台市や地域との連携のもとコミュニティ防災の向上につなげ、防災を基軸としたまちづくりに寄与してまいります。

仙台JCC子ども塾 ぬまっちと行く心の船



フェリーで行く
3泊4日の旅

7月31日(水) ▶ 8月3日(土)

小学4～6年生対象

事業
PR

「ぬまっちと行く心の船」

仙台JCC子ども塾

仙台市の「教育の振興に関する施策の大綱」でも最重要課題とされている「いじめ」や不登校児童の問題を未然に防止するためには、子どもたちに自己肯定感と社会的規範意識を育み、子どもたちがたくましく生きていくことが必要であると考えます。

本年度、私たち感謝の心と思いやり溢れる子ども育成委員会は、「仙台JCC子ども塾」ぬまっちと行く心の船」と題して青少年育成事業を実施いたします。

仙台市の小学生4～6年生を対象に、住み慣れた街や親元を離れフェリーに乗り3泊4日の行程で仙台市の姉妹都市である北海道白老町を訪問する事業を実施いたします。子どもたちに、各種プログラムと団体生活を体験していただくことで、自己肯定感と社会的規範意識を育むことに繋がります。

また、教育者を志す大学生（学生リーダー）にも事業に参加していただき、参加する子どもたちのサポートをしていただきます。

そして、「やる気を引き出す世界一の小学校の先生」としてテレビに多数出演されております、東京学芸大学附属世田谷小学校 沼田晶弘先生に事前研修から帯同していただき、参加した子どもたちに多くの経験をしてもらいます。また参加いただいた学生リーダーについては子どもたちに対する接し方についても短期間

ではありますが成長したと実感できるように事業効果を高めてまいります。

保護者の皆様と仙台青年会議所の会員には、沼田先生の「家でできる『自信が持てる子』の育て方」の講演を聴いていただき、子どもたちに成功体験を積ませることで自信を身に付け、やる気を出させるために親のすべきこと（役割）を学ぶ機会を提供させていただきます。

そして、事業に参加した学生リーダーを中心に「大学生子ども育成サポーターズクラブ」を立ち上げ、宮城教育大学や仙台市教育委員会等と連携し、大学生と小学生との交流の場を増やし子どもたちの成長をサポートするとともに、将来大人になったときに率先して子どもの教育を考え当事者意識を持った大人に成長することを目的とし、事業後も持続的な運動の基盤を構築してまいります。

本事業が安全・安心のもと実施できるよう委員会メンバーが一丸となり準備してまいりますので、今後とも青少年育成事業へのご理解とご協力の程お願い申し上げます。

スケジュール

6月30日(日)	10:00 学生リーダー選考面接
7月 6日(土)	13:00 事前オリエンテーション
7月31日(水)	10:00 学生リーダー研修
	13:30 事前研修 (団員、学生リーダー)
	講師講演 (保護者、メンバー)
	17:00 結団式
	18:00 乗船、夕食
	19:40 仙台港出航
8月 1日(木)	11:00 苫小牧港到着
	14:00 登別ネイチャーセンター到着
8月 2日(金)	9:00 白老町交流事業
	13:00 仙台藩元陣屋資料館見学
	19:00 苫小牧港出航
8月 3日(土)	10:00 仙台港到着、保護者受付開始
	10:30 保護者向け研修内容メッセージ動画視聴
	11:30 解団式

Jr.グローバルネットワーク 育成プロジェクト



事業内容

グローバル化が進む近年、私たちの住んでいる仙台(まち)が持続可能な都市へと発展するために、グローバルな視点を兼ね備えた人材づくりと仙台の国際化へ主体的に取り組む意識を高めなくてはなりません。本事業では小学生児童と留学生による交流を通して、相互理解を深め、将来主体的に仙台の国際化に取り組む意識を作るきっかけづくりの場とします。

学校訪問事業プログラム

第1部 ①アイスブレイク～紙のタワー～ ②留学生の自己紹介と自国紹介 ③生徒から自己紹介

→ 母国語でない英語での自己紹介による主体性の育成

第2部 ～昼食～ 給食

→ 「食」を通じた文化の違いの理解

第3部 ①SDGs ボードゲーム ②仙台七夕短冊づくり体験

→ SDGs を通じた社会課題に対する当事者意識の向上

記入した短冊は、8月に開催される仙台七夕まつりにおいて商店街に展示されます



©UNITAR Hiroshima

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を築き上げるための17の目標



お問い合わせ先

公益社団法人 仙台青年会議所

感謝の心と思いやり溢れる仙台(まち)創造会議「国際交流プロジェクト」

担当者/高橋 蔵人 k.takahashi@miyax.jp

TEL.022-222-9788 FAX.022-222-9786



シブヤ食品株式会社



Security for the future

弱電設備・消防用設備一式 設計・施工・保守管理



<http://www.qreos.co.jp/>

株式会社 櫻井防災

本社：宮城県仙台市若林区卸町 1-6-6 TEL:022-231-8533

健康経営優良法人2019認定

宮城県で一番のホワイト 企業を目指す警備会社

Gorilla Guard Guarantee EST.1991



ずっと笑顔でいられる人生を



広報委員会

- | | |
|--------------|-------------|
| ■ 副理事長 木皿 謙司 | ■ 委員 伊藤 公都士 |
| ■ 担当室長 吉野 秀信 | ■ 委員 海老原 瑞基 |
| ■ 委員長 古川 勇 | ■ 委員 小野寺 正久 |
| ■ 副委員長 鈴木 泰臣 | ■ 委員 齋藤 大誠 |
| ■ 副委員長 塚本 誠巨 | ■ 委員 島田 悦平 |
| ■ 会計幹事 佐藤 生 | ■ 委員 田中 昌吾 |
| ■ 広報幹事 高橋 陽介 | ■ 委員 平野 寿樹 |
| ■ 運営幹事 寺崎 修平 | ■ 委員 渡部 要介 |

公益社団法人仙台青年会議所2019年度広報誌「のぞみ」をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。本年度の仙台青年会議所は「感謝の心が漲る仙台的創造に向かって」守破離の精神を胸に「」のスローガンのもと活動を行っております。

今回の「のぞみ」の理事長対談では、現役の小学校教諭である沼田晶弘氏と対談させていただきました。青少年に対する育成や自立に関するお話しを頂戴し、仙台青年会議所の今後の活動に向けて示唆に富んだ内容となっております。また、お陰様をもちまして、仙台七夕花火祭は今年で50回目を迎え、特集を組ませていただきました。第50回の仙台七夕花火祭の成功に向けて日々活動しておりますので、ご期待ください。

今年の広報誌「のぞみ」は年3回の発行予定でございます。次号が最終号になりますが、引き続き、組織全体で取り組む広報の実現に向けて取り組む所存ですので、よろしくお願いたします。最後になりますが、広報誌「のぞみ」発行にあたりまして、ご協力、ご支援を賜りました皆様に心から御礼申し上げます。

編集後記

仙台七夕 花火祭



つなぐ -夢と希望溢れる仙台の創造に向けて-

SENDAI TANABATA HANABI MATSURI

2019.8.5 MON

19:30-20:30 西公園周辺

今年の花火打ち上げ開始時間は例年より30分遅く変更となっております



主催: **JCI** Junior Chamber International Sendai
公益社団法人 仙台青年会議所

共催: 仙台七夕まつり協賛会 協力: 国立大学法人 東北大学

七夕花火祭 検索 tanabata-hanabi.jp 仙台七夕花火祭
LINEアカウント
お問合せ: [TEL] 022-222-9788 [Mail] 2019sendaihanabi@gmail.com 友だち追加QRコード



仙台七夕まつり
8/6 TUE 8/7 WED 8/8 THU
仙台七夕まつり協賛会(事務局)/仙台商工会議所

後援: 宮城県/仙台市/仙台商工会議所/公益財団法人 仙台観光国際協会/七七銀行/仙台銀行/社の都信用金庫/河北新報社/仙台放送局/TBC東北放送/仙台放送/エフエムエフエム/IOV東日本放送/エフエム仙台/仙台朝日/S-style/仙台リビング新聞社/読売新聞東北総局/朝日新聞仙台総局/産経新聞東北総局/日本経済新聞社仙台支局/毎日新聞仙台支局/CITV/J-COM 仙台キャベツ/仙台赤十字病院/東北電力(株)宮城支店